

(2026年9月11日発表)

11月10日締切 静岡県中部7市町に対象拡大「静岡ベストシェフアワード2026」応募受付中

静岡市ガストロノミーツーリズム推進協議会は、地域の食材や食文化を生かした新たな価値を創造する料理人を顕彰する「静岡ベストシェフアワード2026」の応募を受け付けています。第2回となる今回は、応募対象を島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町および川根本町へ拡大しました。

【趣旨・背景】

- ・静岡市では、南アルプスから駿河湾まで標高差約6,000メートルの自然の中で育まれた豊富な食材や地域の歴史、食文化を生かした食体験「JIMIガストロノミーシズオカ」を推進しています。
- ・「JIMI」とは、おいしさや豊富な栄養、精神的な満足を意味する「滋味」と、温かな地域の味を表す「地味」に由来する考え方です。人の「心」と「体」の健康を増進するとともに、「自然の健康」にも配慮したガストロノミーツーリズムとして観光誘客や周遊促進につなげています。
- ・「あなたの一皿が、誰かの旅の目的になる」。「静岡ベストシェフアワード」は、地域食材や食文化への理解、生産者との連携、食文化を未来へつなぐ取組などを評価し、「静岡の食」を旅の目的とする持続可能な観光地域づくりを推進するものです。
- ・第1回「静岡ベストシェフアワード2025」では、手打ち蕎麦たがたの田形治(たがた おさむ)氏が「山も海も、そばに」で大賞を受賞しました。
- ・今回、応募対象を静岡県中部7市町へ拡大し、エリア全体の食文化の魅力向上と観光消費額の増加を目指します。

【開催概要】

- ・募集締切: 2026年11月10日(火曜日)17時
- ・応募資格: 静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町で店舗を構える料理人(上記エリアにお勤めの方も可能)のうち、次のいずれかに該当する方
 1. 地域の食材を積極的に取り入れ、地域との関わりを重視している方
 2. 地域の食文化を未来へとつなぐ、新しい考え方やチャレンジをしている方
- ・応募方法: アワード専用サイト(<https://shizuoka-award.jp/>)から応募 ※自薦・他薦を問いません。
- ・審査方法: 審査委員長の佐藤 洋一郎(さとう よういちろう)氏をはじめ、三國 清三(みくに きよみ)氏ほか審査委員が、コンセプトや地域性、食材の活かし方、創意工夫などの観点から審査
- ・審査日程:
 - 書類審査 2026年11月下旬、12月中旬
 - 実食審査 2027年2月28日(日曜日)
 - 授賞式 2027年3月7日(日曜日)

【取材について】

実食審査および授賞式の取材については、改めてお知らせします。

【問い合わせ先】

観光文化・市民局 観光国際課(静岡庁舎16階)、担当者: 海野、寺澤 電話: 054-221-1310